

普及活動情勢報告（令和元年 8 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ユズ産地の若手生産者同士の交流を推進 ～香美地区・安芸地区ユズ交流会の開催～



7月26日、JA香美地区物部柚子生産部会はJA安芸地区柚子部と若手生産者交流会を開催し、生産者6名が参加しました。

この交流会は今年が4回目となり、今回は果樹試験場で摘果講習や優良系統の生育確認、意見交換会を行いました。

農業改良普及課はJAや安芸農業振興センターと連携し、交流会の日程や内容について調整しました。生産者からは「他地区の熱心な姿勢に刺激を受けた」等、栽培意欲の増進につながる声が聞かれました。

今後も農業改良普及課では、ユズの担い手同士の交流や技術向上に向けた取り組みを支援します。

香美地区園芸部フルーツトマト部会が栽培講習会を開催



7月30日、夜須出荷場において、JA高知県香美地区園芸部フルーツトマト部会が栽培講習会を開催し、部会員17名が参加しました。

農業改良普及課は、現地実証を実施したカルシウム剤の果房散布技術や環境制御技術について講習しました。参加者の関心は高く、「次作から尻腐れ果対策として果房散布を導入する」との声や、植物生理についての質問が出されました。

農業改良普及課は、今後も栽培講習会や現地検討会を活用してフルーツトマトの生産拡大を図っていきます。

新規就農者確保に向け管内各市の就農支援事業を紹介



新規就農者のさらなる確保に向け、今年度拡充された親元就農の支援事業や管内各市の支援策を紹介するため、各市ごとにPR用チラシを作成しました。

就農のきっかけとしてもらえるよう、作成したチラシを用いて、生産部会等に農業改良普及課から順次紹介しています。初紹介となった7月29日の香美地区シシトウ部会（参加者13名）では、会議終了後に早速問い合わせがありました。各市の支援策が就農の後押しとなるよう今後も関係機関と協力し、新規就農者の確保に取り組みます。

土長地区長岡ピーマン部会が勉強会を開催！



7月23日、JA高知県土長地区長岡ピーマン部会が勉強会を開催し、生産者11名が参加しました。農業改良普及課からは病虫害防除技術向上のため、農薬適用一覧表の配布及び農薬の適正使用、ローテーション散布の注意点、RACコードについて説明しました。ローテーション散布の注意点についての説明では、生産者同士でも情報交換を行っていました。

農業改良普及課は、関係機関と連携して、部会の現地検討会や勉強会などで情報発信を行い、栽培技術向上を支援していきます。

土長地区十市支所管内で勉強会を開催



8月1日、十市出荷場において、JA高知県土長地区十市支所管内の施設園芸生産者を対象に勉強会を開催し、18名が参加しました。

農業改良普及課からは、R2園芸年度に向け、前作の課題を意識した栽培管理全般について説明しました。参加者からは「かん水のタイミングはいつが良いのか？」「ふり肥の場合、肥料を置く場所を変えた方がいいのか？」「適切な湿度はどのくらいか？」等、個々の栽培状況に即した質問が出されました。

農業改良普及課は、今後も勉強会や巡回等により各品目での生産拡大を図っていきます。

香美市新規就農者のフォローアップを実施



8月21日、香美市担い手育成総合支援協議会で新規就農者2名の就農状況調査を行い、農業改良普及課からは経営ならびに技術担当3名が対応しました。

当日は、事前に提出された就農計画と実績をもとに、現地圃場の確認と聞き取りを行い、課題整理と解決策の提案を行いました。

2名とも、真摯に農業に取り組んでおり、計画は概ね実現していましたが、周年生産に向けた品目選定や労働力確保、施設整備等のほか、病虫害や災害対策等の技術課題も多く残っていることが分かりました。

今後は、課題解決のための情報提供と巡回指導を強化するとともに、残る新規就農者の状況調査も行い、同様な対応をしていきます。